

## 第1回日田市中小企業振興推進会議委員発言記録（概要）

日 時：令和3年5月24日（月）14：00～

場 所：日田市役所4階 庁議室

### 【議題1 委員長選出について】

- ・日田市中小企業振興推進会議設置要綱により、委員長職について説明。
- ・事務局から昨年までの推進会議に引続き、前委員長に委員長職を務めていただくことを提案。

#### ○委員

- ・異議なし

#### ○委員長\*挨拶

- ・条例は平成28年4月1日に施行され、丸5年ということ。今はコロナで辛抱の時期であるが、この推進会議が実りあるものとなるためには、コロナが終息して事業者が中小企業施策を目いっぱい利用できる状況になることが前提となる。
- ・今日は皆様のご意見を聞きながら会議を進めていく。

### 【議題2 新型コロナウイルス関連施策について】

#### ○事務局

- ・資料①により新型コロナウイルス関連施策について説明。助成・給付に関するもの、融資に関するものについて、市の事業については実績を併せて報告。

#### ○委員

- ・質疑応答は特になし。

### 【議題3 日田市中小企業振興計画の概要について】

#### ○事務局

- ・資料②により令和3年度中小企業振興施策について説明。
- ・令和3年度の主な事業を5つの基本方針ごとにまとめたもの。
- ・実績は当該事業の令和2年度の実績を示しているが、中小企業振興計画の目標値との進捗状況や達成状況につきましては、2回目の会議で報告させていただく。

#### ○委員長

- ・今年度の中小企業の振興の市の主たる取組について御紹介いただいた。昨年度のPDCAは、第2回目にチェックをしていただく。
- ・チェックをしていただくと同時に、来年度どういう予算を講じる必要があるかとか、施策の充実を図る必要があるかとか、そういう御意見を2回目でお伺いする。

○委員

- ・質疑応答は特になし。

○事務局

- ・新規事業が少ないという意見が当然あると思うが、コロナ対応で中小事業者支援策また経済支援を重点的に行う中、令和2年度の執行事業で事業推進が図れなかった事業があった。
- ・消極的な予算立てというような形に見受けかねられないような状況であるが、令和3年度につきましては、まずこの施策を進めていきながら、必要な時期またタイミングを見ながら、推進策は考えていきたいと考えているので御理解いただきたい。

【議題4 中小企業訪問調査について】

○事務局

- ・資料③により中小企業訪問調査（案）および調査票について説明。
- ・令和2年度の訪問調査は新型コロナウイルス感染拡大のため実施出来なかったが、令和3年度は、新型コロナウイルス変異株の感染拡大の影響もあるが、できる範囲で調査をしたい。
- ・調査結果については、振興推進会議で報告を行う。
- ・調査件数は日田市内の事業所50社と考えている。調査実施期間は、6月から8月の中旬を予定している。
- ・訪問調査票について、「新型コロナウイルス感染症の影響について」を新たに追加した。

○委員長

- ・要は、7番の新型コロナウイルス感染症の影響について、市として状況把握をしたいということ。
- ・事前確認では、この項目について専門部会におろしていないということなので、一応は皆様方の御了承いただき、部会に対して事務局から連絡をしてください。意見があれば盛り込んで、修正案は委員に諮ってもらうということによろしいですか。

○委員

- ・質疑応答は特になし。

【議題5 その他】

○委員長

- ・委員の皆様が生声を伺いたい。

○A委員

- ・一般家庭の分では、前年比1割とまではいかないが、5%ぐらいは上がっていた。問題は業務用で飲食店のほうが少し悪い。一般ガスと業務用は半々ぐらい。業務の落ち込みは、10%までは落ち込んでいないが、売掛金管理などの資金管理が厳しくなってきた。

○B委員

- ・飲食業は危機的状況だと思う。先日の大分県の飲食業の総会でも明日の資金をという声が非常に多かった。店のほうは、宴会はゼロで大分県内に時短要請が出てから本当に少なくなった。関連してる酒屋さんなどにもかなり影響が出ている。

○C委員

- ・今、アメリカ、中国の景気が良過ぎて、原材料が入ってこない。それで国産材でまかなおうということで、需要はものすごくあるけれども、それ以上に仕入れがすごく高騰してみんな厳しい状況。とはいえ、期待もあるというところ。

○D委員

- ・家具業界には、2通りありまして、一つが、巣ごもり消費の影響で結構好調な、家庭用家具の人たちで、我々は、店舗や事業所が主体なので、余りよくない業界にいることになる。1年前、去年の5月6月は最悪で、受注がほぼ半分以下になってどうしようかという状況があった。旅館、ホテル、アミューズメント、飲食の全て工事がとまっていたが、1年かけてじわじわ戻りつつある。特に、ここ2、3か月、見積りの状況とか見ると、高級ホテルの見積りが出てきたりとか、ちょっと前向きなベクトルに変わってるのかなという気がしている。今はあまりよくはないですが、このいただいた時間をしっかりと活用することを考えている。

○E委員

- ・建設業は、特に土木関係は去年、一昨年災害関係で、これはコロナとは関係なしに忙しい状況にある。日田市も予算をつけながら災害復旧を進めている。私ども管工事は、コロナの影響があったとすれば、昨年、各事業所の設備投資が中止又は延期になったりした物件が多く、予定していた仕事がなくなったというのが一つあったのと、今年の4月からですが、管材が値上がりだしたことに加え、衛生器具関係の納期が二、三か月物によっては、動きが遅れたりするなどの状況になってます。大分、福岡は、競争が今すごい激しい。叩き合いというとおかしいですけど、もうそういうことが少しずつ出てきているような状況になってます。工業会、建設業としては、今、皆さん人手が足りないところで災害復旧に向けて、今年の災害に向けても準備しているような状況。

○F委員

- ・始めた途端にコロナで、最初から厳しい状況ではありますが、まだ移住して1年あまりで、開業してからまだ半年という新参者なんですけれども、今ちょっと時間があるもんですからいろんなほかのお店をちょっと訪ねて勉強させていただいたりしている。私の個人的な意見になりますが、隣のうきは市吉井町というところに、非常に魅力的な店が点在している。お昼は車でランチに、夜はJRで飲みに行っている。こういう言い方はあれですが日田で飲みに行くよりは吉井町に行ったほうがすごく魅力的な店がいっぱいある。深掘りはしてないんですけども行政の施策でそういう店ができるのか、そういう活力のある人たちがあちらにいるのか、いるために出来てるのか、その辺の理由はわからないんですけども、何か町の魅力化とか

ですね、若者の引きとめという意味においては非常にいい町だなというふうに思っている。日田もああいうふうに何か活力を持った若い人たちが新しい店をオープンさせるような流れが出来ないのかなってちょっと感じ始めている。

#### ○G 委員

- ・直近の3月に独自の景況感調査というのをやっています。卸小売業、ホテル旅館業、飲食業、サービス業等の営業所につきましては、D I 低調、D I 30 未満ということで、厳しい状況が続いている。

#### ○H 委員

- ・雇用調整助成金の状況説明ですが、ハローワーク管内の3月末までの数字ですが、3月末で助成金の申請があったのが、1644件ということでほかの制度に比べると多い。これは月ごとになるので、延べ件数ということです。支給決定については助成金センターということで労働局で行っているが、12億円支払ったという実績になっている。参考までに、大分労働局全体でいくと、1万8000件申請があって、190億ぐらいの支給決定となっている。

#### ○I 委員

- ・4月5月の途中までで、コロナ関係の相談が300件以上あって、大体8割ぐらいが支援金、現金給付の関係になっている。残りの1割が補助金の相談、1割未満が融資等の金融の相談となっている。支援金のうちの大体8割9割近いぐらいが、国の一次支援金関係が最近特に多い。4月から先週末まで、申請の支援件数が180ぐらいある。そのうち、大体7割から8割ぐらいがサービス・飲食業である。先週は、県の時短の内容がありましたので、特別相談窓口も設置したところである。

#### ○J 委員

- ・コロナ対策と、昨年の水害関係からの復旧の相談が多い。特になりわい補助、事業再構築補助金と1個1個がかなり重たい案件が来ているので、それが指導員の今の主な業務になっている。コロナ対策としては補助金関係が多くて、4月からであると80件ぐらい。また、一時支援金の相談は増えてきている。

#### ○K 委員

- ・消費者としては、安心して生活ができるっていうことを望んでる。ワクチンの接種、7月までに本当に終わるのかなという心配。防災ラジオ、どのくらい置かれてあってという実態を知りたい。東京は3時に感染者何人とか言うけど、日田の場合はその時間が決まっているのか。遅いときは4時、5時近く、検索しても出ないときがある。私たちは誰がなり、なったから悪いとかではなく、その経路を知りたいっていう意見が多かった。

○オブザーバー

- ・時短要請協力金は6月からスタートということで今、内部調整、また議会との調整を図っているところと聞いている。現状、県の内容については、日田市がやろうとしている中小企業訪問調査と同じように500社訪問の形で、全県の調査をさせていただいているところ。この結果については、6月中旬に締め切る予定にしているので、改めて報告できればいいかなと思っている。GW中の観光客の入込状況等も調査させていただいた。やはり全く休業された前年に比べればいいが、一昨年の令和元年に比べても、半分以下に落ちてるっていうのが現状かなと思う。これを踏まえて、今後どういうふうな施策をするのかというのを今、検討させていただいているところである。

【次回日程】

○事務局

- ・8月23日の週に開催させていただきたい。

○委員長

- ・皆さん方できるだけたくさん出られるように日程調整をよろしくお願いします。また実際、対面でできるのか、8月だと対面で出来ないと困るが、無理なときはまたオンラインになるかもしれない。8月は結果のチェック、PDCAなので、活発な議論のためにもできるだけ対面で開催したい。

【閉会】 15：45頃終了